



国際

沿岸レポート

濱口梧陵国際賞 授賞式

一般財団法人沿岸技術研究センター
研究主幹 西園 勝秀



わが国の津波防災の日である11月5日が、2015年12月の国連総会において「世界津波の日」に制定されました。これを機に、国土交通省、内閣府政策統括官（防災担当）等の皆様からのご後援をいただき2016年創設された「濱口梧陵国際賞」は、津波防災をはじめとする沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた国内外の個人又は団体を表彰するものです。

今般、2019年の受賞者が次の2名に決定し、10月29日（水）に海運クラブにて授賞式が開催されました。

○柴山 知也 早稲田大学教授／横浜国立大学名誉教授

- ・40年以上にわたって津波、高潮、高波による沿岸域の被災機構を解明する研究を現地調査、数値予測、水理実験などの手法を用いて実施。2010年チリ津波、2011年東北地方太平洋沖地震津波などで、調査隊長を歴任。

○Ahmet Cevdet Yalciner 教授 中東工科大学（トルコ）

- ・数十に及ぶ国際科学プロジェクトを通じて、津波の数値解析、津波への認識の向上、津波対策などにおいて多大な貢献。2004年以降、ユネスコにおける多くの津波事後調査チームを率いた。

授賞式では、赤羽一嘉国土交通大臣、二階俊博自民党幹事長による来賓のご祝辞、濱口梧陵国際賞選考委員会の河田恵昭委員長（京都大学名誉教授／関西大学特任教授／人と防災未来センター所長）による受賞者と受賞理由のご紹介の後、赤羽国土交通大臣から受賞者の皆様に表彰盾が贈呈されました。



柴山 知也 教授



Ahmet Cevdet Yalciner 教授



授賞式